

平成 27 年度第 1 回 幹事会報告

2015 年 5 月 12 日 (火) 14 時～17 時半
 於：藍野大学 中央図書館 3 階会議室

[出席者] (敬称略)

井上智奈美 (三菱京)、寺澤裕子 (関労災)、畑美之 (阪警察)、増田徹 (藍野大)、松井美沙枝 (大労災)

欠席者：川野真樹 (京二赤)、藤原純子 (音羽病)

[各部からの報告事項]

■事務局 (総務)

1. 第 41 回総会について

3 月 19 日 (木) にキャンパスプラザ京都において開催された。参加者は 28 館 33 名。

同時に岩波明氏 (昭和大学医学部精神医学講座主任教授) による総会記念講演「成人期の発達障害」が行われた。

2. 会員異動

平成 26 年度末に、柏原赤十字病院より退会届が届き、メール会議にて退会を承認。

3. ニュースレター

2 月 17 日 (火) に No. 32 を会員へ送信。この号より近図雲公式コミュニティ内のニュースレタートピックで送信。

4. 医図協総会への臨席について

5 月 28 日 (木) に日本科学未来館で開催される第 86 回日本医学図書館協会総会に増田氏を派遣する。

5. 『図書館年鑑』協議会の概況原稿提出

日図協に 3 月 20 日 (金) に『図書館年鑑』に掲載される協議会の概況原稿を提出した。

■事務局 (会計)

1. 平成 26 年度会計監査

2015 年 3 月 5 日 13 時～17 時、関西労災病院で実施

監査は石川尚子氏 (住友)、村瀬美佐氏 (滋賀医)。平成 27 年度会計監査も両氏が担当。

2. 会員数・収支 (2015 年 5 月 12 日)

会員数：会員 114、賛助会員 4、購読会員 45、
 広告主 4

会費収入 0 円、会費以外の収入 62,633 円

事業費 119,088 円 (予算 256 万円)

管理費 918,160 円 (予算 7,374,339 円)

※会誌 34 巻 1 号、目録メンテナンス費用を支払った。

3. 請求

平成 26 年度会費は 2015 年 2 月 20 日に全機関振込完了。

広告主：33 巻支払完了。

購読会員：33 巻：未払い 1、34 巻：45 中 39 入金済、未払い 1、後払い 5。

未払い施設へは催促を行う。

4. 平成 27 年度会費・賛助会費請求

5 月頃、総会議事録などとまとめて送付する予定 (8 月上旬締切予定)。

5. 会員名簿情報調査

会費請求後に近図雲上にて行う。

6. 各部への仮払い

各部会計担当者は近図雲 会計トピックに入る。仮払いを希望する部は会計に連絡。

7. クロネコメール便廃止後の送付手段について

クロネコメール便と同等の料金で利用できる、日本郵便の「クリックポスト」を利用。

クレジットカード決済で利用する、この決済は他の部にも利用可とする。

■研修部

1. PC、プロジェクトの購入

ノート PC：dynabook N61 ￥85,946- (税込)

プロジェクト：EPSON EB-1761W

￥94,670- (税込)

Bluetooth マウス、ウイルスバスター (3 年)

￥6,894- (税込)

USB ハブ：BSH4U06BL、有線 LAN ポート：

LAN-GTJU3

￥2,330- (税込)

ノート PC と附属品は音羽病院、プロジェクトは桂病院にて保管する。

部会、交流会などでの利用可とする。

2. 第136回研修会(事例・研究報告会)

日程：平成27年3月19日(木)

時間：10時00分～12時00分

場所：キャンパスプラザ京都 4階第3講義室

テーマ：事例・研究報告会

プログラム：

①近畿病院図書室協議会に入会して

大阪府済生会中津病院図書室

吉原 理恵 氏

②オートシェイプを使ったイラスト作成

三菱京都病院図書室 青柳 智子 氏

③はじめてのPubMed LinkOut 設定

西尾市民病院図書室 浅井 裕子 氏

④共同リポジトリ開設への第一歩

ーリポジトリプロジェクトチームの活動

洛和会音羽病院図書室 藤原 純子 氏

京都第二赤十字病院図書室 川野 眞樹 氏

鳥根県立中央病院図書室 高橋眞由美 氏

八尾市立病院図書室 谷口裕美子 氏

関西労災病院図書室 寺澤 裕子 氏

藍野大学中央図書館 増田 徹 氏

⑤「選書ツアー」の取り組み

愛仁会看護助産専門学校 酒井紀美子 氏

参加者数：42名(会員41名、賛助会員1名)

■会誌編集部

1. 原稿の状況

34巻1号 2015年3月発行。

34巻2号 原稿提出待ち。

2. 次回編集会議について

第1回編集会議は、2015年5月16日(土)に開催予定。場所は藍野大学。

■目録サポートチーム

1. 書誌データの点検作業

目録サポートチームにてKITOcatの書誌データ点検作業を行った。

作業内容：KITOcat 書誌マスタのうち、CiNii

IDが付与されていない書誌もしくは雑誌IDでない(AA or ANで始まらないCiNii ID)345書誌マスタをナレッジワイヤに提出してもらい、目録サポートチームで分担して点検作業を行い、ナレッジワイヤに書誌マスタの訂正・調整を依頼した。

作業期間：2015年2月17日～3月24日

作業結果：新規CiNiiID付与書誌マスタ………28
重複書誌マスタ……………10
書誌修正……………40

2. 東海目録の所蔵書誌データの一括更新

東海目録によるNACSIS-ILL加盟機関のKITOcatの所蔵書誌データが2015年5月5日に一括更新された。

更新データ…13,328タイトル、28,434所蔵レコード

3. 日本看護学会論文集の書誌データの追加

日本看護学会論文集(42巻～)のEJ書誌を目録サポートチームにて独自に作成、パッケージ書誌データとしてKITOcatで書誌登録を近々行う予定。

■ホームページWG

1. ホームページ修正

柏原赤(退会)会員一覧から削除、会長変更

2. 近図雲

1) 同時に4施設へのPCメール通知エラーが起きた。Barracudaで迷惑メールと認定されたため、業者を通じて解除を依頼した。2月4日依頼、3月10日解決。

2) かんたんマニュアルを作成し、ホームページ内と近図雲内に掲載した。

3) 柏原赤の近図雲アカウント削除。

4) 異動などで担当者やメールアドレスが変わった機関に設定変更を依頼した。

3. 平成27年度ホームページWG活動予定

1) ホームページ記載情報の修正、リポジトリ事業の追加(ページ、事業活動)。

2) 近図雲の検索機能の改善。

- 3) 近図雲での全機関登録状態を保持する。
利用調査や info@hosplib.info 宛に届く PC メール配信エラー、会員名簿情報などをもとに、電話やメールなどで連絡を取る。
- 4) 利用者からの問い合わせへの対処。
- 5) 初任者研修でホームページと近図雲の利用方法を説明する。
- 6) 業者とのやりとり (契約更新・保守作業)。
- 7) マニュアル類の整備。

4. 利用調査

5月11日第1回目メッセージを発信した。同日中に114機関中52機関から回答あり。

■リポジトリ部

1. システム発注報告

アグレックスに発注作業中。

2. リポジトリ研修会開催予定

- 1) 下記の日程で会場、講師の調整を行う。同じ内容で3回行う。

第1回 8月29日(土)(岡山国際交流センター)

第2回 9月26日(土)(大阪)

第3回 10月24日(土)(名古屋)

- 2) プログラムは以下を予定している。著作権については外部講師を依頼する予定。

リポジトリ概論

コンテンツの電子化

リポジトリへの登録作業

著作権

3. 部会

2015年4月29日(水)に藍野大学にて開催。

4名が参加した。

[協議・決定事項]

■事務局(総務)

1. メディカルオンラインの企業向け著作権権利許諾(追加契約)について

論文(全文)または論文に記載された図表、写真含む利用、および論文の“一部抜粋”および“要約・サマリー”の作成について、一定の

条件で、メテオが対応する。

2. 役割分担(◎部長、○会計)

事務局：◎増田 徹(藍野大)

松井美抄枝(大労災)

畑 美之(阪警察)

○寺澤 裕子(関労災)

事務局(会計)

1. 公印省略ルール(会長印)

現在公印(会長印)は、事務局長、総務、会計で計3個あり、委嘱状や幹事会開催通知に用いている。一部、たとえば部活動の案内状などは省略しており、公印を省略できる要件をウェブサイト調べ、当協議会の公印省略ルールとして提案する。

「権利の取得や喪失・変更にかかわらないもの、幹事会で認めるもの。ただし会員施設から要望があれば個別に応じる」ことで承認された。公印を押す文書は委嘱状と総会案内の2つがある。公印を省略した文書は郵送せず、近図雲などを通じて各自が印字できるようにする。公印省略した場合、公文書番号ファイルに載せる。

2. 公印をデータ化することについて

作業を簡略化するため、年会費や購読会費の請求などでデータ公印を使用したい。一般的には「大量に発行する場合は印刷することが慣行的に行われている」「カラー印刷でなくても相手が了解ならよい」こと、図書館関連の請求書(情報の科学と技術や日本図書館協会)にもデータ公印が使われていることを説明し「公印の代わりにデータ公印を使用してよいが、会員施設からの要望があれば個別に応じること」で決定した。

データ印は、フリーソフト clickstamper_150 使用しているが、井上氏からの提案であった“印影を取り込み加工したもの”と比較して美しく使いやすいものを選択する。

3. 第9回交流会

今年度は1回。6月20日(土)、27日(土)を候補日に京都または神戸で会場を探す。

■研修部

1. 過去の研修会・勉強会参加証明書の発行
第24回JMLA認定資格申請(2015年7月)に合わせて、過去の研修会・勉強会参加申込書の再発行を行う。

申請方法：近図雲メッセージで研修部に申請
申請期間：～2015年6月20日
発行対象イベント：第122回～第136回研修会(平成22年～27年)
第30回～第39回勉強会(平成22年～26年)
発行方法：電子ハンコ使用承認の場合は、無料でメール添付送信

電子ハンコ不可の場合は、印刷費・郵送費用実費負担

備考：発行は今回のみとし、今後は行わない。
参加者リストを研修部から受け取ることができれば、事務局でも再発行は可能である。

研修部印は近畿病院図書館協議会会長印と異なる点の問題か、再検討する

2. 第22回医学図書館員基礎研修会参加助成
会期：2015年8月5日(水)～8月7日(金)
会場：明海大学 浦安キャンパス(千葉県浦安市)
例年、片道5,000円以上の方に3名まで上限30,000円支給。平成26年度は申請なし。

参加記、会誌への執筆が責務。実施する場合、案内は近図雲です。

3. 部員(◎部長、○会計)
椎木 淳美(京都桂)
高橋 育子(姫路マ)
谷口裕美子(八尾)
◎○藤原 純子(音羽病)

■会誌編集部

1. 会誌編集部の2015年度目標
発行の遅れを取り戻す。
・34巻2号の早期発行
・35巻1・2号の年度内発行
2. 編集部グッズの作成
次回MISでも新しいグッズを要望された。予

算と用途的を幹事会にて確認

用途：販促目的

予算：1万円以下

もの：紙粘土・フェルト・消しゴムハンコ

3. 部員(◎部長、○会計)
◎増田 徹(藍野大)
岩瀬 成美(京都医)
寺澤 裕子(関労災)
○松尾 知香(石切生)
井上智奈美(三菱京)〈休職中〉

■統計調査部

1. 平成26年度統計調査現状

3月27日(金)「平成26年度図書室統計調査報告書 実データ編」を統計調査実データを、公開可とした施設に発送した。従来、全会員に配布していたデータを加工した統計調査報告書については、完成が遅れており、4月8日(水)近図雲上で発行の遅延を会員に謝罪。現状は「Ⅱ. 年度統計調査の1」までしかできていない。理由は「マクロで一つの計算式が組めなくてとん挫しているのと、集計の選択範囲を最初に間違っていたので時間がかかってしまった」ため。期日をこれ以上遅らせることはできない。従来通りの方法で集計し、早急に統計調査報告書を発行する

2. 部員(◎部長、○会計)
◎増田 徹(藍野大)
椎木 淳美(京都桂)
谷口裕美子(八尾)
寺澤 裕子(関労災)
○畑 美之(阪警察)

■目録ST

1. MIS32で目録サポートチームが発表する件
当協議会の事業活動にかかわる内容のため、今後は事前に幹事会へ諮る。
今回の発表に関しては発表内容を発表前に幹事会の了承を受ける。
2. 会員の教育について

KITOCat の利用促進と正常利用を図るため、新任者研修などで目録の登録や修正方法の実技を説明する。

3. 目録情報未登録機関について

平成 26 年第 2 回幹事会議事録にあった未登録機関について回答未なので回答すること。

それを受けて今後の対策方針を幹事会にて協議する。

4. 幹事会への参加について

部長が欠席の場合は、代理を立てることが望ましい。また、幹事会の土日開催について提案があった。

5. 部員 (◎部長、○会計)

- ◎川野 真樹 (京二赤)
- 春日井泉江 (名記念)
- 高須賀京子 (松山市)
- 高橋眞由美 (鳥根)
- 松本 圭子 (日本バ)

■ホームページ WG

1. 部員 (◎部長、○会計)

- 井上智奈美 (三菱京)
- 岩瀬 成美 (国京医)
- 松尾 知香 (石切病)
- ◎寺澤 裕子 (関労災)

■リポジトリ部

1. 会員へのリポジトリ案内発送

開設のご案内・運用指針・参加申請書・ポスター 2 種類を会員に送付する。

ポスター印刷と上記資料の発送は明文舎に依頼する。

送付物の内容について幹事から要望があった。

1) 開設のご案内とは別に会員が自機関上層部へリポジトリ開設について簡潔に説明ができるよう、KINTORE のトピックなどを通して会員に周知する。

2) 運用指針の「2 の (2)」記載理由について

病院や大学が事務局となり研究を進める団体 (研究グループなど) が執筆した論文や報告が掲

載される場合がある。その場合、著者として 2 (1) にあたる者が記載されていない場合があるため、記載した。

感想文集や自費出版を掲載するかどうかは、各図書館の担当者と病院の責任において判断いただく。

3) 参加申込書は、複数の担当者が等しくリポジトリ業務にあたる場合のことを考えて、図書館担当者欄の下に代表者 1 名でよいことを記す。

4) 運用指針の 10. 免責事項について、成果を利用すること、利用できなかったことにより発生した登録者又は著作権者の損害について、一切の責任を負わないものとする。と「利用できなかったこと」を含める。

5) ポスターの雑誌とわからせる影がついていない。kintore の表記が小文字になっていて愛称の KINTORE と合わないこと。修正して幹事メールに流す。

2. 第 32 回医学情報サービス研究大会への発表者助成

「近畿病院図書室協議会共同リポジトリ “KINTORE” —構築までの 500 日とこれから—」という発表をリポジトリ部で行う際の旅費については、発表者 1 名分を支給する。もう 1 名 (谷口氏) への助成は、共同発表者以外の理由を書面で提出する。その後幹事会で検討する。

3. 病図協 Web サイト上のリポジトリページ設置

リポジトリ開設に先立ち、Web サイト上にリポジトリページを作成する。

ウェブサイト内のページ位置は、出版案内の下、KITOCat の上に入れる。

掲載内容を Word などで作成し、事前に幹事メールで承認を得たうえで設置する。

4. 会誌のリポジトリ公開

KINTORE の目玉として、会誌バックナンバーを KINTORE で公開するため、会誌の電子化と著作権の状況を整理した。

1) 2009 年以降発行分 (明文舎)

リポジトリ公開に必要な許諾はとれている。

電子化されているので、編集部で所在や有無の確認をする。

2016年1月リポジトリオープン時に公開する。

2) 2000年～2008年発行分 20巻1号～28巻4号 (小西印刷・リョーイン)

電子化されていないが、リポジトリ公開に必要な許諾はとれている。

電子化を委託するため、編集部でリポジトリ収載用のボリュームを調査する。

電子化は前回委託した寺田倉庫を使用する。

3) 1巻～19巻4号までの病院図書室

電子化は済んでいるが、リポジトリ公開に必要な許諾が取れていない。

平成27年度総会でリポジトリ公開について承認を受けたのち、ホームページや会誌などで一定期間包括許諾のお知らせを掲載して公開を行う。

5. 部員 (◎部長、○会計)

谷口裕美子 (八尾)

○寺澤 裕子 (関労災)

◎藤原 純子 (音羽病)

増田 徹 (藍野大)